

## 【指標の説明】

入院患者さんの病棟別転倒転落件数です。

転倒・転落は生活環境の変化等により、どうしても起こりえる事象です。

当院ではいかに転倒・転落を予防するか、また発生時の損傷をいかに軽減するかを念頭に置き、各エリアの危険度を把握しております。

診療科の特性により各病棟での発生件数は変化しますが、当院ではベストポジションバーや超低床ベッドの設置、離床センサー増設等により、 転倒・転落事案の発生を抑える対策を行っております。

各病棟では、患者さんに入院前と入院時に転倒・転落の注意喚起は徹底しております。

次年度以降も、転倒・転落ワーキングチームを充実させ、今後も様々な対策を検討・実行し、転倒・転落件数の減少に努めます。

2024年度の全病棟での転倒・転落割合は0.22%でした。 (2024年度 入院延べ患者数:294,328人)